

## 感染症の登園基準

いずれの感染症も書類を提出する際に医師の診断が必要となります。

湘南こども園

		病名				原則となる期間は出席停止するまで感染となります。	
第1種	エボラ出血熱 クリミア・コンゴ出血熱 痘そう 南米出血熱 ペスト	マールブルグ病 ラッサ熱 急性灰白髄炎 ジフテリア 重症急性呼吸器症候群			中東呼吸器症候群		
		病名	潜伏期間	感染可能期間	主な症状	登園のめやす	提出書類
第2種	1	インフルエンザ(様疾患)	1~4日	症状がある期間(発症前24時間~発病後3日までが最も感染力が強い)	高熱(3~4日)、全身倦怠、筋肉痛 鼻汁、咽頭痛、咳	発症した後5日経過し、かつ解熱した後2日経過していること (乳幼児にあたっては3日経過)	治療証明書(保護者が記入したもの)
	2	新型コロナウイルス感染症	5~14日	発症2日前から発症後7~10日間	発熱、呼吸器症状、頭痛、倦怠感 消化器症状、鼻汁、味覚・嗅覚異常	発症した後5日経過し、かつ解熱した後2日経過していること (乳幼児にあたっては3日経過)	
	3	百日咳	7~10日	感染後約3週	特有な咳 (コンコンと吹き込んだ後にヒューという音を吹くような音を立て息を吸う)	特有の咳が消失していること又は抗菌性物質製剤による5日間の治療が終了していること	
	4	はしか(麻疹)	8~12日	発熱出現1~2日前から発疹出現後の4~5日間	高熱(38℃以上)、咳、鼻汁 結膜充血、目やに、粘膜疹コプリック斑	解熱後3日を経過していること	
	5	おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)	16~18日	発症数日前から発症5日	発熱、唾液腺の腫脹、疼痛	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日経過し、かつ全身状態が良好になっている	
	6	三日はしか(風疹)	16~18日	発疹出現の前後7日間	発熱、発疹(顔面→体幹) リンパ節腫脹	発疹が消失していること	
	7	水ぼうそう(水痘)	14~16日	発疹が出現する1~2日前からすべての発疹が痂皮化するまで	軽熱、被覆部に発疹、斑点丘疹状 →水疱→顆粒状痂皮	全ての発疹が痂皮(かさぶた)化していること	
	8	プール熱(咽頭結膜熱)※	2~14日	発熱、充血等の症状が出現した数日間	39℃前後の発熱、咽頭炎、頭痛 食欲不振、結膜炎、目やに	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日経過していること	
	9	結核	3年~数10年	喀痰の塗抹検査が陽性の間	咳、痰、微熱、血痰、食欲不振 呼吸困難、チアノーゼ(進行時)	医師により感染のおそれがないと認められるまで	
	10	侵襲性髄膜炎菌感染症(髄膜炎菌性髄膜炎)	4日以内	症状出現7日前~有効な治療終了後24時間	発熱、頭痛、嘔吐	医師において感染の恐れがないと認められていること	
第3種	11	流行性角結膜炎※	2~14日	発病後約2週間	流涙、結膜充血、目やに リンパ節の腫脹	結膜炎の症状が消失していること	
	12	腸管出血性大腸菌感染症(O157、O26、O111等)	10時間~6日 O157は3~4日	便中に菌が排泄されている間	激しい腹痛、頻回の水様便、血便	医師により感染のおそれがないと認められるまで	
	13	急性出血性結膜炎	ウイルスの種類によって24時間又は2~3日	ウイルス排出は呼吸器から1~2週間、便からは数週間~数か月	強い眼の痛み、結膜の充血 目やに、角膜混濁	医師により感染のおそれがないと認められるまで	
第3種	14	溶連菌感染症	2~5日	抗菌薬内服後24時間が経過するまで	発熱、咽頭痛、扁桃腺炎、莓舌 頸部リンパ節炎、全身に発疹	抗菌薬内服後24~48時間経過していること	
	15	ヘルパンギーナ	3~6日	急性期の数日間	高熱、咽頭痛、咽頭に水疱	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること	
	16	りんご病(伝染性紅斑)	4~14日	発疹出現前	発熱、倦怠感、頭痛、筋肉痛、顔面紅斑 身体にレース、網目状に赤い発疹	全身状態が良いこと	
	17	感染性胃腸炎(ノロ・ロタ・アデノ)※	3~10日	症状がある間と症状消失後一週間	嘔気・嘔吐、下痢(白色調)、発熱	嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事ができること	
	18	マイコプラズマ肺炎(うつる肺炎)	2~3週間	症状発現時から4~6週間続く	咳、発熱、頭痛、激しい咳	発熱や激しい咳が治まっていること	
	19	突発性発疹	約10日		高熱(38℃以上)、3日後に全身に発疹	解熱後1日経過し、全身状態が良いこと	
	20	帯状疱疹	不定	水疱を形成している間	小水疱が神経の支配領域にそった形で片側に現れる	全ての発疹が痂皮(かさぶた)化していること	
	21	RSウイルス感染症	4~6日	通常3~8日(乳児は3~4週間)	発熱、鼻汁、咳嗽、喘鳴、呼吸困難	呼吸器症状が消失し全身状態が良いこと	

※プール熱、流行性角結膜炎、感染性胃腸炎 これらはすべてアデノウイルスが原因となりますので、受診した際必ず医師に病名を確認してください。